



三木町

No.130

2010.January

# 議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



新年あけましておめでとうございます。

## 12月定例議会

- 議案を審議 ..... 3  
議員定数2人削減
- 第5回臨時議会 ..... 5  
月給・ボーナスを引き下げ
- 一般質問 ..... 6~11  
6人が一般質問に立つ
- 来年度予算に活かす ..... 12~13  
決算に8項目を指摘
- 委員会レポート ..... 14~15  
総務常任委員会・下水道推進特別委員会  
環境保全対策特別委員会

- 元気なグループ紹介 ..... 16  
平木カラオケ同好会



町の記念樹：メタセコイア

# 新春のご挨拶



議長 古市 弘



副議長 香西 茂知

平成二十二年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。  
 現在、我が国は一年秋の米国に端を発する百年に一度と言われる世界的な金融危機の影響を受け、日本経済、雇用情勢は依然として厳しい局面が続いており、先行き不透明感が強く、特に地方経済は、さらに悪化の傾

向を強めていると思われ  
 ます。

このような状況を打開し、真に地方を再生するには、地方分権の中で自治能力を高め、都市、農漁村が共生しうる社会の構築を推進していかなければならないと思われ  
 ます。

そうした中、昨年八月三十日の衆議院総選挙におきましては、多くの国民は、政権交代を選択され、一四〇年前の明治維新以来の一大改革になりました。

「何事についても、変化を求めめるのが人間の性」と言われる中で、十一月には新政府において、行政刷新会議の作業グループによる事業仕分けが行われました。

地方交付税の抜本的

な見直しとの方向と  
 われている中、旧政権においては、要請に応じて下から予算を積み上げていく「足し算の政治」から、新政権においては、何が不要不急か見極めて差し引いていく「引き算の政治」に移行していくように思われ  
 ます。

そうした中、本町においても社会資本の整備である地方臨時交付金による町道正一駒足線、三条鹿庭線、三木志度線の早期開通の促進、下水道整備、自己水源の確保について

も、国、県、上級官庁への働きかけを、今までの以上に強めてまいり、また、日本列島、災害列島、地震列島、と言われ、南海地震も近い将来発生するとの中

で、災害に強い町づくり、安心社会の実現を、推進していかなければならないと思われ  
 ます。

最後になりましたが、本年、平成二十二年は寅年、虎は勢いのある動物であります。干支にあやかっ  
 て、町勢のさらなる発展と、町民皆様方の益々のご健勝、ご多幸を心よりご祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。

賀正



## 議会の動き

10月1 議会広報編集委員会

8 議会広報編集委員会

14 決算特別委員会

議会広報編集委員会

16 決算特別委員会

19 決算特別委員会

26 決算特別委員会

27 議会広報編集委員会  
 29 議会広報編集委員会  
 県外視察研修

30 香川県町村議会議長会主催の議員研修会

11月5 決算特別委員会

6 鹿児島県垂水市議会産業厚生委員会視察来町

環境保全対策特別委員会

12 下水道推進特別委員会  
 13 下水道推進特別委員会  
 県外視察研修

17 行財政改革推進特別委員会  
 19 行財政改革推進特別委員会  
 県外視察研修

環境保全対策特別委員会  
 県外視察研修

20 教育民生常任委員会

24 議会運営委員会

26 総務常任委員会

30 第5回臨時議会

議会運営委員会

12月4 下水道推進特別委員会

9 第4回定例議会開会

(議案の上程、質疑、討論、採決、議案の上程、議案の質疑)

議会広報編集委員会

10 総務常任委員会

教育民生常任委員会

14 本会議(一般質問)

16 議会運営委員会

本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)



▲議員定数改正案採決の様様

# 12月 定例議会

## 議員の定数、18人から16人へ（次の一般選挙から）

平成21年第4回定例議会は、12月9日から16日までの8日間の会期で開かれた。平成21年度一般会計補正予算案のほか、瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定の締結についてなど12議案、ならびに議員定数改正案など議員提案2議案が上程され、各委員会や本会議で慎重に審議し、全議案を原案どおり、可決した。

決算特別委員会に付託されていた平成20年度の各会計決算10件についても、本会議で、全議案を認定した。

三木町議会の議員の定数を18から16へ、行財政改革推進特別委員会で、何度も調査、そして、全員協議会においても、白熱した議論を行った結果、2人削減で決定。

また、一般質問では、6人が登壇し、新年度予算編成について、新型インフルエンザ対策、下水道計画、ヴィラ讃岐への今後の対応などについて、町長の見解を求めた。

人事案件では、任期満了に伴う教育委員会委員の任命に同意し閉会した。

# 人事

## 教育委員会委員 多田葉子氏の任命に同意



平成20年6月就任  
以来、2期目。  
大字田中(49歳)

# 議案を審議

議員定数を削減へ  
(賛成16・反対1)

反対討論

賛成討論

渡辺達実議員

きめ細やかな行政施策を進めていくためには、議員の果たす役割は本場に重要である。

定数の削減ではなく、議員活動の一層の充実・努力を進めるべきだ。

筒井米市議員

三木町の規模、人口等から考慮しても、16人が最低限必要である。

また、議会の使命である民意反映や、その機能性からも16人が、最低必要だと思う。

かねてより、行財政改革推進特別委員会等で、調査を重ねていた議員定数について、現行の「18人」から「16人」に改正する議員発議案が、各常任委員長および、行財政改革推進特別委員長から提出された。

# 議案を審議

## 「定住自立圏構想」とは

少子高齢化、大都市圏への人口流出、地方分権の推進など、地方の現状を鑑み、中心市と周辺市町村との機能を連携させ、魅力に溢れ、かつ自立可能な地方圏の構築を目的に、国が全国展開している構想。

三木町は、高松市、綾川町など1市5町で構成され、昨年10月に認定を受けた「瀬戸・高松広域定住自立圏」に参画している。

平成22年1月中旬頃、高松市長と、周辺町長との間で、協定書の調印式を開催することである。

定住自立圏構想協定書を締結（賛成16・反対1）

## 反対討論

渡辺達実議員

住民の自治を衰退させない、三木町が小さくても光かがやく町として、頑張っていくという決意を固めている中では、この協定書については、見直すべきだと考える。合併に続く気がして非常に危惧する。

## 賛成討論

香西俊之議員

地方分権から、地方主権の時代の流れになっている中、この協定により、高松市とのつながりが、さらに強化され、直面する様々な課題に対して、より小まめな対応ができるようになると思われる。

高松市総合老人ホームひぐらし荘用地を売却

当該用地は共有であり、土地9597.02㎡の本町の共有持分は、1万分の663ということから、処分価格は、2447万2千円である。



▲「ひぐらし荘」を現地調査

「みきの家」の指定管理者決まる

平成22年4月1日から、平成27年3月31日までの5年間、社会福祉法人「三木町社会福祉協議会」に指定する。

町内、幼・小・中のテレビをデジタル化

**問** 備品の購入に際して、価格面はもちろん、アフターサービスや、町内事業所の育成も考え、一括でなく分割して発注することも考えるべきではないか。

**答** 教育総務課長 この事業は、学校情報整備事業補助金等を活用したもので、一括発注すれば経費も安くなり、最小の経費で最大の効果を上げられることで発注している。

## 意見書を提出

議員から次の意見書案が提出された。

審議の結果、満場一致で可決され、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁に提出し、その実現を要請した。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

提出先

内閣総理大臣・外務大臣・衆議院議長・参議院議長

# 平成21年度 各会計予算の補正

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計(第6号)		2,785万7千円 追加	87億5,872万7千円
一般会計(第7号)		1億9,420万9千円 追加	89億5,293万6千円
特別会計	簡易水道事業	0円(財源補正)	1,530万円
	介護保険事業	2,995万円 追加	22億8,526万7千円
	公共下水道事業	1,547万7千円 追加	11億7,127万7千円
	介護予防サービス事業	493万3千円 追加	1,963万3千円
水道事業(収益的収入及び支出)		130万5千円 減額	4億9,052万4千円



▲撤去されるアーケード

**平木商店街のアーケード撤去に補助金**

**問** アーケード撤去事業の詳細、金額と補助の割合は。

**答** 産業振興課長

平木商工振興会の見積額は420万円で国へ申請し、負担割合は、国、町、地元、それぞれ1/3である。

**問** 他の地区もアーケード撤去の申請を上げたら、採択になるのか。

**答** 産業振興課長

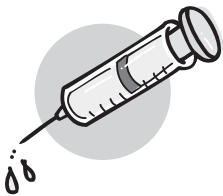
当該事業は、国の三次募集に申請して採択されたもので、以後の追加募集の情報は聞いていない。

**新型インフルエンザワクチン接種に補助**

**問** 対象者の人数は。

**答** 健康福祉課長

対象者は3310人で、内訳は、妊婦の方11人、基礎疾患を有する方622人、1歳から18歳の方750人、1歳未満の乳児の保護者20人、65歳以上の非課税対象者1791人、生活保護者116人である。



## 第5回臨時議会

11月30日 開会

**町職員の月給・ボーナス等を引き下げ(賛成16・反対1)**

**反対討論**

渡辺達実議員

国の人事院勧告に準じ、12月の支給分から引き下げる。一般職は、月給を平均0.2%、ボーナスを年間0.35か月分。また、特別職と町議は、期末手当を年間0.25か月分引き下げる。ボーナスの年間支給月数は、一般職4.15か月、特別職と町議は2.75か月分となる。

同時に、職員の住宅新築時に補助していた月額2500円の住居手当(5年間)を廃止する。

年間、約6000万円の減額とのことだ。町の職員も町民である。この約6000万円が支給されると、消費に回り、地域の活性化になる。検討の必要があると考える。

**賛成討論**

原田照治議員

年の瀬を迎え、承知のとおり厳しい社会・経済環境である。民間企業の給与・ボーナスカットを考慮した人事院勧告に準ずるのは同感であり、やむを得ないと思える。



## 問 町長など三役の

## 給料の見直しを

**答** 特別職報酬等審議会の検討をしたい



一般質問

香西 義典 議員

私は過去、平成18年3

月議会的一般質問で、町長を初め四役の特別職の給与の見直しについて、質問した。

当時町長は、答弁として他の市町の状況を十分に注視しながら、合理的で適正な四役給与等について、今後検討したいということだが、既に四年が経とうとしているが、以後の対応はどうされたのか。現在の三役の給料額と改正年月日はいつか。

町長

然るべきときに、特別職報酬等審議会の検討をしたい。

給料額は、

町長 85万円

副町長 63万8千円

教育長 55万円

改正日は、平成8年4月1日である。

下水道事業が  
地方へ移管

本町の今後の事業計画変更を見据えた中で、事業費の影響について、どのように考えているのか。

町長

事業仕分けにおいて、国土交通省の下水道事業と、農林水産省の農業集落排水事業については、実施は自治体の判断に任せるとして、財源を含めて地方

に移管すべきだと評決があった。

まだ具体的な内容が分からない状況であることから、基本的な方針は変更せず、粛々と進めていきたい。

道路への影響は

道路整備事業の仕分け判定結果、コストの削減を求める意見が続出し、道路構造令の柔軟化などにより予算の見直しを行うとしている。

本町の主要町道三線の、三木志度・三条鹿庭・正一駒足線、また新規路線の町道砂入荒木線についての影響は、どのように考えているのか。

町長

今後、本町の道路整備事業にどのような影響を及ぼすか、現時点で依然として不透明である。引き続き、コスト削減に努め、できる限

り影響が及ぼさないように努めていきたい。

本町の対応は

今年の6月21日、県内初の発生以後、本町における新型インフルエンザの発生状況と、その対応は。

町長

本町では、去る9月11日、私立保育所において、三木町初の新型インフルエンザの感染が確認された。現在、私を本部長とする対策本部を5月18日から設置している。

感染防止策として、全公共施設に消毒液を設置するとともに、感染防止のための手洗いの徹底などを、防災ラジオ、広報みき等で住民に周知している。

ボランティア活動に  
支援を

ボランティア活動は、各団体の自主努力によって財政を確保することを原則としている。

特に、学校区ごとに活動している子供の見守りや、交通安全ボランティアなど、内容に着目した財政支援等をしてはどうか。

町長

現在、町内においてボランティア活動をしていると考えられる団体・個人の数については、正確に把握している資料等はないが、各課において、ボランティア活動をしていると考えられる。また、これらの団体、個人への支援については、その崇高なる善行に対し、最大の敬意を表するに留め、公的支援については、必要最小限に支援していきたい。

▲浄化センター建設場所の行方は



# 問 来年10月の町長選で

## 審判を受ける意思は

**答** まだ考えていない



**一般質問**  
西丸 一明議員

○ 来年夏実施予定の参議院議員選挙、香川県知事選挙、そして秋の三木町長選挙の「ポスター掲示場」の有効活用のため、共通使用はできないか。

○ 町税および、住宅使  
用料、水道料金などの  
公共料金の悪質な滞  
納者対策は。

○ 公印管理と、支払明  
細の内部チェック体制  
は大丈夫か。

○ コミュニティバスの  
効率的な運行の見直し  
と、予約制で運行する  
「デマンドタクシー」  
を検討してはどうか。

○ 体育協会、スポーツ  
クラブなどへの補助金  
の執行状況は。

○ 幼・小・中学校およ  
び、公共施設の耐震化  
事業の進捗状況は。

○ 新政権のことも手当  
支給への対応と、子育  
て支援策の継続は。

○ 新型・季節性インフ  
ルエンザのワクチンお  
よび、タミフルの備蓄  
は大丈夫か。

○ 「環境基本条例」の  
運用と、啓蒙施策は。

○ 事業仕分けで農道  
整備事業が廃止になっ  
たことから、東讃南部  
農道の計画の見直しを  
してはどうか。

長い行政経験と中央との太いパイプ、そして卓越した行政手腕に期待している町民もいるようである。

ハッキリと、態度表明してはどうか。

町長

体調も順調だし、下水道事業の推進に没頭しているので、今のところ考えていない。

水道事業を、一旦凍結を。

町長

農業集落排水事業は、三木東浄化センター(仮称)用地の取得交渉で、一部周辺住民の反対運動により、暗礁に乗り上げている。

根本的に見直してはどうか。

町長

今年度末(平成22年3月31日)までに用地場所を確定し、平成23年度には、事業の再開をしたい。

ほとんどの町民も、そのように望んでいる。配管工事も公共下水

▲態度表明はいつか

道で7割、農業集落排水で4割済んでいるし、補助金の返還を考えると、凍結はできない。

**新開地区の土地購入の意図は**

まちづくり事業のために、土地開発公社が新開地区の土地を購入することだが、汚水処理場との関連性はないのか。

政策情報課長

「公園と東西道路を目的とする」まちづくり事業なので、下水道事業との関連性については回答できない。

土木建設課長

連絡道路とは、白山文化センター南側に東西に延びる道路である。

その他の質問

○ 22年度の予算編成の基本理念と、主要事業は。

○ 事業仕分けを導入してはどうか。

○ 田中幼稚園の預かり保育および、田中小学校のコミュニティスクールの成果、ならびに今後の取り組みは。

# 問 町民の福祉を

## 向上させる予算編成を

**答** 住民の要求する行政を適切に実施する



一般質問  
渡辺 達実 議員

予算編成の基本的な考え方を尋ねる。

町長

国の動向に注視し、財政環境の変化に対しても、住民の要求する行政を適切に実施するために、不断の決意と揺るぎない信念を持って、町政運営に全力を傾注していく。

下水道事業の今後の進め方は

町としての重要課題である、公共下水道事業、農業集落排水事業等の、今後の進め方を尋ねる。

町長

公共下水道事業は、処理水の放流先が、新川から女井間に変更されることに伴う、地元及び関係機関との調整など、協議していく。

農業集落排水事業は、今年度中には建設場所を決定するとともにエリアの見直しを行い、事業再開に全力を傾注していく。

行政評価を

住民への福祉や健康、教育施策等について、今後の進め方を尋ねる。

町長

行政評価の実施は、コストの削減のみを目標にするものではなく、行政活動の成果がどれだけ住民を満足させたかという観点から評価を実施し、その成果を次の行政活動に反映させることに留意する必要がある。

特に福祉や健康、教育施策などの面において、真に必要な経費については重点的な予算配分を考慮していく。

町税滞納者への行政サービス制限の廃止・凍結を

厳しい生活にあえいでいる町民のみなさんの現状に合っていない。見直しを要望する。

町長

税収が厳しくなると見込まれることや、税負担の公平性の観点からも、弾力的、かつ適正な運用に努めたい。

事務補助員等の待遇改善を

現行の待遇は、どのような状況か、今後の雇用方針について尋ねる。

町長

働きやすい環境の確保が住民サービスの向上につながるのと観点から、労働条件の改善に取り組んでいる。

省エネルギー対策の検討は

経費の節減について、太陽光発電の利用や、省エネルギー器具等への転換など、方法を検討しているか。

町長

庁舎の空調設備の使用エネルギーの削減、照明器具の休憩時間中の消灯、資料の両面印刷や裏紙の利用など、節減に努めている。

また、低燃料消費の軽自動車への更新など、省エネルギー対策に努めている。器具等の更新の際は、費用対効果を勘案し検討していく。

ごみ減量化の今後の方針は

ごみの減量を通して、経費の削減を進めるべきではないか。町民からも意見が寄せられている。

町長

ごみの減量化は、焼却費用の軽減のみならず、焼却に伴って排出される地球温暖化効果ガスの削減にもつながるものである。可燃ごみの減量に積極的に取り組んでいく。

女性職員の幹部登用を

男女共同参画社会の実現をめざす中で、今後の人事政策について考え方を尋ねる。

町長

人事評価制度を導入し、人事制度の運用を始めている。性別にかかわらず、公平で平等なものとなるよう努めている。



▲女井間池

# 問 小児救急医療の現状認識は

答 一層の整備・強化を図ることが重要である



一般質問  
松原 哲也 議員

子育て中の親にとって、我が子の怪我や病気こそが最大の心配事であり、その医療体制の整備と充実が、心よりの願いである。

政府は、小児救急医療体制の整備を重要施策の一つと位置付け、取り組んでいるようだが、改善が見られていないのが実情である。

町としても救急体制におけるこれらの整備について、ぜひ中央機関に要望してほしい。

そこで、三木町の小児救急医療についての現状認識を聞く。

町長

平成20年中に三木消防署において、救急車

で搬送された方は1090人、その内、15歳までの子どもは73人であった。

医療機関の受け入れ状況は、患者の問い合わせ1060件に対し、医療機関側から拒否された件数は、191件あるが、最終的にはいづれの患者も、受診となっている。

核家族化が進み、子育ての経験者が少ない環境下での育児は、保護者に大きな負担となっている。

今後は、一層の小児救急医療体制の整備・強化を図ることが重要であると考えている。



▲町内の小児救急医療の一層の充実を

## 揺れる新政権に町の対応は

当町の来年度予算編成方針が10月に出されたから今日まで、政府による政策転換が、今なお続いている。

また、景気悪化による税収の落ち込み等、こ

これらの流動的情勢に対し、町の予算組みをどう対応していくのか。

町長

財政環境のいかなる変化にも、収支均衡を保持し、住民の要求する行政を、適切に実施できる財政構造であることが必要と考える。

国が進める子ども手当について、問題は、その財源である。

鳩山首相は当初、「全額国で負担する」と断言していたが、ここ

にきて地方負担の議論が浮上してきた。公約違反とも取れる

この地方負担について、町長の見解を問う。

町長

国が負担すべきだと考えている。

## 三木東浄化センター(仮称)の真意を聞く

県からは、今年度中に候補地を決定し、来年度7月までに計画変更の手続きをするよう期限が決められていると思う。今だ迷走状態にあると、私の目には映る。

さすがに、もうこの時期になると、明確な意思が必要ではないか。

町長

事業の早期実現を図るため、今後は新開地区にややウエイトを置いて、進めていく。

県の示す周辺住民の100%同意に、目的は立っているのか。

上下水道課長

町としては、100%のご理解が得られるよ

うに努力している。

今は裁判の結果を待つことが優先である。判決が出るまでは無駄な他の候補地選定は、全く必要ないと考えるが、町長の考えは。

町長

これまで何度も申し上げた通り、(私の考えに)全く変わりはない。

## 公共下水道のムダを斬る

これまでの一連の変更にかかる費用は、全て後ろ向きに経費だ。

この計画変更に要する当初計画外の費用を、町長はどのように考えているのか。

町長

住民の環境整備のために、投資しなければならぬ経費は、それを上回る効果があると考えている。

# 問 民主党政権になり、町の道路事業への影響は

**答** 依然として不透明、国の動向を見守りたい



一般質問  
香西 茂知議員

自民党から民主党を中心とした政権に替わり、「コンパクトから人へ」の方針のもと、公共事業一部中止・削減が進められている。

本町の町道整備事業の、三木志度・正一駒足・三条鹿庭・砂入荒木線への影響は。

## 町長

現時点では、本町の道路整備事業は、依然として不透明であり、引き続き、動向を見守りたい。

現在、町が施工中の町道高木中南線の用地は、無償で提供され、工事が進められている。今までに、請願書・

陳情書で提出され、採択されている路線への対応は。

## 土木建設課長

主要幹線道路については、買取するが、地元要望路線については、用地は、建設経済常任委員会とも協議しながら、方向性を見いだしたい。

## 住宅用火災警報器の補助は

平成23年6月1日から設置義務化が決定しているが、町の対応は。

## 町長

町営住宅については、本年度中に全戸数に警報機を設置すべく、発注済である。

町民には、広報誌、防災ラジオを通して啓発を行っている。

設置に対する町費補助については、他市町の動向等も勘案した中で、検討していきたい。

## 「ヴィラ讃岐」の今後は

「穴吹工務店」が、会社更生法の適用を申請したが、「ヴィラ讃岐」への、今後の対応は。

## 町長

平成9年5月に「ウエルサンピアさぬき」の名称で誕生した後、平成19年8月「穴吹ハートレイ」が経営する「ヴィラ讃岐」と改名し、現在に至っている。取得の日から最低5年間は、維持継続して運営することを条件に、固定資産税を免除している。

今後、会社更生法により、どのような会社

が運営し、どのような会社が出てくるかわからないが、決まった段階で協議を重ね、住民が期待する施設として存続できるよう、町としては、できるだけ努力したい。

だけでなく、健康的に暮らすという観点から、子ども頃から推し進めては。

## 教育長

学校給食の地産地消の現状は、JA三木町支店、また関係機関の協力のもと、町内幼稚園・小中学校で、計画的、実践的に取り組んでいる。

本町の学校給食における地産地消は、町内産のコシヒカリやヒノヒカリを、年間約21ト使っている。その他、いちご、ブルッコリー、ナバナ、キュウリ、アスパラ、玉ねぎなど10品目、本年度は、町内産のみかんや、香川県産のキウイ香緑等が、加えられている。

これからも、関係機関の協力を得ながら、地産地消を推し進めていく。



▲どうなるヴィラ讃岐

## 学校給食の地産地消は

地域で採れた食材を、食べて暮らせば健康でいられる。

地産地消は農業振興だ

## 問 新年度予算に

### 取り組む基本姿勢は

## 答 行政サービスの向上を基本とする



一般質問  
原田 照治 議員

新年度予算編成にあたっては、さらなる住民福祉の向上と基本方針を堅持し、全職員の英知を結集して住民要望に応える予算編成を期待するが、町長の新年度予算に取り組む方針と、基本姿勢を問う。

執行の実績を適格に把握して、予算との差異の要因等を十分に精査しつつ、その結果を適切かつ確実に予算編成に反映させながら、予算・決算と、行政評価の連携を強化する。

また、予算の重点化・効率化をより一層進め、

行政水準の全般的かつ持続的な向上を図っていくことはもとより、行政コスト削減、職員の意識改革、成果重視の行政サービスの確立等を図ることを基本として編成する。

## 町長

将来にわたり、町民一人ひとりが真の豊かさ、安らぎを実感できるような施策を進めるためには、自主財源の大幅な充実・強化は不可欠であり、地域主権を確立するためにも重要であると考えている。

本町の平成22年度の予算編成は、中長期的な視野に立脚し、予算

制度の改革については、

各方面から提言があり、改善や効率化が図られているが、本町の入札制度のあり方と、取り組みについて問う。

## 町長

本町では、平成19年10月に制定した「三木町総合評価方式要綱」により、一定規模以上の土木工事では、企業の施工能力、配置予定技術者、地域ボランティアなど、入札価格以外の項目も評価に加えて落札業者を決定している。

また、最近の経済情勢も十分に加味した上で、適正で公平な価格、地元企業の育成などという観点のもと、一般競

### 公共事業の入札制度の取り組みは

自治体における入札

争入札、指名競争入札、随意契約の、バランスのとれた契約の実現を目指している。



▲工事が進む町道正一駒足線

### 税の収納率の向上対策は

税の公平性と、財源確保のためにも、今後

とも徴収、収納率の向上が必要と思うが、町長の所見を問う。

## 町長

不況のさ中ではあるが、徴税業務においては、負担の公平と財源確保のために、徴収率の向上が求められている。

このため、税務課職員全員による戸別訪問や、電話による催告のほか、悪質滞納者に対しては、強制的な滞納処分を行い、収納率の向上を目指すとともに、住民の納税意識の高揚を図る施策を実施している。

### 介護保険事業における更新認定の状況は

国は、本年4月からの要介護認定の方々の見直しに伴い、検証期間中において、経過措置を実施するとしているものの、いずれも利用者の思いと認定結果に隔たりがあるよう

あるが、認定の実施状況について問う。

## 町長

平成21年10月末現在、本町の要支援の認定を受けた方が374人、要介護認定を受けた方が1016人で、要支援、要介護の認定を受けた方は65歳以上の方の約19・7%になっている。

平成21年4月から認定調査の項目が変更し、従前の認定結果との差異が大きいとの指摘があり、厚生労働省は本年9月末までを期限に更新認定の経過措置を講じていた。要介護認定方法の再検証は、9月末をもって終了し、10月1日から見直された新たな要介護認定方法に速やかに移行している。



# 8 項目を指摘!

来年度予算に活かせ!

## 10件の決算を認定

9月定例議会で、決算特別委員会に付託された20年度各会計決算10件は、9日の本会議で、三木委員長の閉会中の審査結果報告に続き、採決が行われ、一般会計および、後期高齢者医療事業特別会計については賛成多数、その他の特別会計および、水道事業会計合わせて8件については、全会一致で認定した。

委員会では、5日間審査した結果、8項目を当局に指摘し、来年度への対応を提言した。

指摘事項は、次のとおりである。

なお、これらについては、平成22年3月定例議会において、町長より状況報告される。

### 1 医療制度の充実を

少子高齢化の進展する中、子育て支援を充実するとともに、乳幼児医療制度および高齢者、障害者、母子などの各種医療制度について、充実に努められたい。また、介護予防対策として、健康づくりなどの施策の推進に努められたい。

### 2 納税方法等の多様化を図れ

町税及び住宅使用料などにおける滞納対策については、一定の評価はするが、現況を把握し納税相談等を行うとともに、特に悪質と認められる者については、法的手段をもって、収納率の向上に引き続き努められたい。

### 3 早期事業の再開に向けて

公共下水道事業及び農業集落排水事業の推進にあたっては、浄化センター建設について、住民の理解を深め、事業の円滑な推進を図られたい。



▲コンビニ納税の検討を

### 4 見直しの検討を

町費単独補助金及び委託料については、行政効果等を十分に精査し、経費の節減に努められたい。

### 5 町内道路網の整備を

生活道路における未舗装道の解消及び維持管理、山間部路線の整備、また、危険箇所については交通安全施設の充実を図るとともに、特に、町主要（南北）幹線道路の早期整備・推進を図られたい。

### 6 町内全域への路線拡大の検討を

コミュニティバスについては、高齢者や障害者などの、交通弱者の移

### 7 自主防災組織の結成促進を図れ

今世紀前半にも発生が予想される南海・東南海地震に備え、自主防災組織の結成促進を図り、活動の充実に努められたい。



▲平成22年1月6日 新しくなりました





多様な住民ニーズに、より効果的・効率的に対応し、かつ、住民サービスの向上・経費の節減等を図るため、公の施設に民間活力を取り入れる指定管理者制度の導入の再検討を図りたい。

8

指定管理者制度の見直しを



▲防災訓練での活動のよう

## 請願・陳情のゆくえ

平成21年 請願第1号(平成21年6月9日 受付)

三木町立中学校武道場建設に対する請願書

継続審査

三木町大字田中4505番地1 進武会スポーツクラブ 会長 宮井 進 他1432名

(平成21年11月16日 受付)

「協同労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書」採択を求める要望書

議員へ配布

高松市川島東町925-1 香川県高齢者生活協同組合 代表理事 横手 通人

(平成21年11月27日 受付)

くらし支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情

議員へ配布

高松市サンポート3番33号 香川県国家公務員労働組合共闘会議 代表者 議長 坂上 雄彦

平成21年 陳情第2号(平成21年12月16日 受付)

三木町下水道整備事業の早期整備推進を求める陳情書

建設経済常任委員会へ付託

三木町大字井上513番地1 三木町井上南部集落排水推進協議会 代表者 岩淵 角太郎 他360名

## 契約しました (地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を活用)

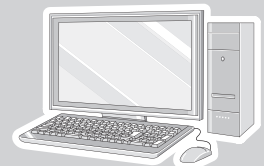


### 第5回 臨時議会(11月30日 可決)

契約名	平成21年度公共施設デジタルテレビ等購入	契約名	平成21年度町有軽自動車購入	契約名	平成21年度町有自動車購入
契約方法	指名競争入札	契約方法	指名競争入札	契約方法	指名競争入札
指名業者	7社	指名業者	3社	指名業者	3社
契約金額	9,910,950円 (テレビ106台、付属品一式)	契約金額	14,898,450円 (軽貨物自動車17台)	契約金額	6,744,150円 (小型自動車4台)
契約の相手	株式会社三谷電気	契約の相手	有限会社稲井モータース	契約の相手	香川トヨタ自動車株式会社 三木店

### 第4回 定例議会(12月9日 可決)

契約名	三木町立学校地上デジタルテレビ整備事業	契約名	三木町立小中学校校務用パソコン整備事業
契約方法	指名競争入札	契約方法	指名競争入札
指名業者	13社	指名業者	13社
契約金額	25,725,000円 (テレビ153台、天井吊り下げ金具他一式)	契約金額	9,177,000円 (パソコン142台)
契約の相手	四国特機株式会社	契約の相手	リコー関西株式会社 香川事業部



# レポート

## 総務

### 未利用財産・適正価格での処分を申し入れる

11月開会

未利用財産・旧福万団地隣接地（雑種地）の処分を行いたいとのことである。

かつての旧福万団地跡地を平成20年2月に、一般競争入札により落札した方が、当該宅地への進入路確保のためにと、払い下げ申請が出されているとのこと。売却価格については、その方が落札した価格を参考に設定したいとのことである。

**問** 団地跡地の払い下げ当時は道路に接しておらず、住宅の建築が難しいと予測されることから、売却価格が農地並みとなった。今回、この雑種地を払い下げることにより、団地跡地の価値が大変高くなると思われるが。

### 答 総務課長

申請者が、この土地を取得することにより、団地跡地が宅地として利用できるかどうか、現在、長尾土木事務所と協議中であり、可能性はあるが、確証もない。

さらに、「宅地としての活用が可能であるのなら、適正価格で処分してほしい」、「進入路部分と、奥まった土地の価格に差があつて当然である」との、意見も出された。

当局に対し、売却価格の設定に当たっては、多方面から検討した価格を提示することを申し入れ、継続調査とした。



▲現地調査の様子

## 下水道推進

12月開会

担当課から、本年8月26日開会の、本特別委員会以降の公共下水道事業と、農業集落排水事業の状況について説明があつた。

### 公共下水道事業

### 答 上下水道課長

補助制度があれば活用し、事業を実施したい。

### 農業集落排水事業

**問** 計画変更をしなければならぬのであれば、エリアの見直しを早急に決定し、関係者に周知すべきではないか。

### 答 上下水道課長

平成22年3月までに場所の決定作業を進めている段階であり、エリアの見直しに当たっては、地域の特性を踏まえ、様々な面から検討した上で、整備エリアを選定したい。

### 答 上下水道課長

同水利組合の役員会で、前向きに検討をいただいているということから、全組合員の方に説明会を予定している。

### 問 放流先が変更となれば、処理水の管路延長や、ポンプアップ等の工事費が発生するが、どのような予算措置を計画しているのか。

法律的には、隣接者100%の同意の必要性はないということであるが、県や町執行部としての方向性は。

# 委員会

**答** 上下水道課長  
 県の助言により、隣接の方100%の同意を得るよう、町としても努力するよう考えている。

## 環境保全対策

11月開会

高野橋から荒木橋までの新川下流の左岸、「平木下所環境をよくする会」による花の植栽、流域における堰堤の改修状況を視察。その後、「川原自治会」による、吉田川下流の川丸橋から旧長楽寺橋までの左岸245m、周辺の花の植栽や手入れ、草刈、清掃活動の状況などについて調査を行った。

**問** 吉田川においての、河床整備の実施状況は怎么样了か。

**答** 土木建設課長  
 県が年一回、全線について実施すべきであるが、地元の要望があった段階で、町から県に整備を要望している。

**問** 河川管理等のボランティア活動に対しての、県や町の支援の内容は、どのような状況か。

**答** 土木建設課主幹  
 活動団体に対して、町は回収されたゴミの処理を実施。県は清掃用具の支給及び、ボランティア保険の加入費用の負担を行っている。

その他、「新川沿岸に、憩いの場づくりなどの環境整備を実施してほしい」との申し入れや、町独自の環境美化推進委員の制度等を、引き続きの検討課題として調査していくこととした。



▲新川の堰堤を視察

## 永年在職功勞特別表彰

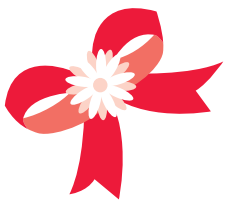


石井 定夫 議員



溝渕 清美 議員

全国町村議会会議長会創立60周年記念特別表彰において、永年在職（議員在職30年以上）功勞者として、石井議員、溝渕議員が表彰され、その伝達が、12月9日の本会議場で行われました。



## 第5回臨時議会(11月) 第4回定例議会(12月) 議員出欠表 (本会議のみ)

議員氏名	11/30	12/9	12/14	12/16
富田 修司	○	○	○	○
渡辺 達美	○	○	○	○
松原 哲也	○	○	○	○
三木 和則	○	○	○	○
香西 義典	○	○	○	○
白井 正治	○	○	○	○
三宅 貞夫	○	○	○	○
香西 俊之	○	○	○	○
古市 嘉忠	○	○	○	○
西丸 一明	○	○	○	○
谷畑 健二	○	○	○	○
桑井 明人	○	○	○	○
原田 照治	○	○	○	○
筒井 米市	○	○	○	○
溝渕 清美	○	○	○	○
石井 定夫	○	○	○	○
香西 茂知	○	○	○	○
古市 弘	○	○	○	○

○印は出席 ○は半欠 ×は欠席

今期定例議会の傍聴者は、延べ22人でした。次の定例議会の予定は、3月中旬頃の予定です。

# 元気なグループ紹介

## 平木カラオケ同好会

会長 富田 ヤエ子

明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、気持ちも新たにしております。

私たち「平木会」は  
結成十二年目を迎えております。三木町福祉センター一階老人憩の部屋で、毎週火曜日夜七時から先生を迎え二十六名の会員で、家族の様な仲間と楽しくカラオケをお稽古しております。

の繰り返しが、若さと健康を保つ最大の秘訣です。

また、町内のイベント、カラオケ三木同好会に参加して、活動の輪を広げています。年二回、文化交流プラザのホールでの発表会、団体旅行、また、忘年会にはカラオケ喫茶を借り切り、細やかな料理にもリッチな気分につまみながら歌を通じて一生の友となる趣味を持ち、苦楽を共にする仲間ができたことは、メンバーのかけがえのない財産だと思えます。現状に満足することなく、感動する美しい声と心を追求めて、これから日々、練習に励んでまいります。どうぞよろしくお願ひします。



▶ 私たちかけがえのない仲間です

## 行政視察来町

11月6日、鹿児島県垂水市議会・産業厚生委員会委員7名、事務局1名が研修に来町しました。

当日の議題は、本町の単独事業である「1人暮らしのお年寄り」を24時間サポートする緊急通報装置等給付事業の取り組み状況と課題についてであり、本町の状況や、協力員の選定方法についてなど、委員から活発な質疑が行われました。

## お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人となっておりますが、当日の午前8時30分で、傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。

●お問い合わせは、議事事務局へ  
☎(087) 891-3311

次の定例議会は、3月中旬頃の予定です。

## 編集を終えて



昨年は「新」という漢字で表された。新しい政権、八月三十日総選挙により、五十年間続いた自民党を中心とした政権から民主党を中心とした政権が発足した。国民が変化、新しい政府、しがらみのない政権を望んだ結果だと思ふ。我々地方議会人も、中央政府の考え方を把握して、三木町民のため、福祉向上のため、努めなければならぬ▼アメリカの住宅バブル崩壊に端を発したサブプライムローン問題が引き金に、金融危機が世界に広がり、その余波で、今も日本経済が低迷を続けている。冬の後には、必ず春が来る。今年こそ、早く景気回復を願いたい▼本年も、町民皆様にとりまして、幸せ多く、実り多い年でありませうように、心よりお祈り申し上げます。  
(S・K)